

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	漁業振興助成事業		会計区分	1	一般会計	所管部署	農林水産課			
			予算科目	6	款					3
事業番号	3030		事業区分	政策的事業【任意】			□	重要事業		
評価の種別	□ 詳細評価		□ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）				所属長名	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
総合計画での位置づけ	基本目標	産業振興都市の創造						担当責任者	鍋田	鍋田
	基本施策	持続的な林業・水産業の振興					事務担当者			
根拠法令等	伊予市農業及び漁業廃棄物処理事業費補助金交付要綱、伊予市水産業強化支援事業費補助金交付要綱									
関係する計画等										
事業の目的【ゴール】	対象	漁業協同組合、漁業従事者								
目指すべき姿を簡潔に	意図	漁業の振興及び市民の生活環境保全を図るため、漁業生産活動に伴うプラスチック系廃棄物の回収・処理を行う。 水産業の振興を図るため、漁港施設改修事業を行う。								
事業内容【アクティビティ】	伊予市に住所を有する者が排出する漁業生産に伴う廃棄物（養殖も含む）の処理 漁業協同組合が行う漁港施設の改修に要する経費の一部を補助									
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他（ ）									
連携事業及び関連事業の有無	□ あり（以下に記載すること） □ なし									
	事業番号	事務事業の名称			事務事業の概要					【連携事業】 一体的に実施している事業 【関連事業】 関係が深い事業
本事業とSDGs（持続可能な開発目標）との関連性	□ ゴール 1	貧困をなくそう			□ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに			□ ゴール 13	気候変動に具体的な対策を
	□ ゴール 2	飢餓をゼロに			□ ゴール 8	働きがいも経済成長も			□ ゴール 14	海の豊かさを守ろう
	□ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を			□ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう			□ ゴール 15	陸の豊かさを守ろう
	□ ゴール 4	質の高い教育をみんなに			□ ゴール 10	人や国の不平等をなくそう			□ ゴール 16	平和と公正をすべての人に
	□ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう			□ ゴール 11	住み続けられるまちづくりを			□ ゴール 17	パートナーシップで目標を達成しよう
	□ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に			□ ゴール 12	つくる責任つかう責任				

前回評価の振り返り

評価年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
令和 4 年度			
最終判断	昨今の燃油の高騰等を受け、産業廃棄物の処理に係る費用が増加しており、財政状況を圧迫している。	⇒ 各所に散在している廃棄物を計画的に集積することで、処分費以外にも運搬費等を抑えることにより、事業を継続できるように努める。	⇒ 各漁業関係者に集積方法等、アドバイスを行っている。
現状維持			

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳								
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	節	細 節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に		
								R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求			
予算	当初予算	1,456	129,256	1,856	2,000	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の	負担金・補助及び交付金	補助金	1,024	4,266	2,416	2,000	伊予市漁港施設改修事業費補助金	
	補正予算	18,275	▲ 15,160	0	0									
	前年度から繰越	0	15,520	110,694	0									
	予備費等	0	0	0	0									
	計	19,731	129,616	112,550	2,000									
決算	執行額	3,530	18,786	111,976										
	翌年度へ繰越	15,520	110,694	0										
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0									
	県支出金	1,500	0	73,040	0									
	地方債	0	0	36,500	0									
	その他	0	0	0	0									
	一般財源	2,030	18,786	2,436	2,000									
執行率（％）		83.8％	99.3％	99.5％		負担金・補助及び交付金	補助金	256	14,520				伊予漁業協同組合水産業振興施設解体事業費補助金	
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		17.9％	16.5％	6033.2％		負担金・補助及び交付金	補助金	2,250		109,560			伊予市水産業強化支援事業費補助金（伊予）	
正規職員の人工数		0.18	0.12	0.12										
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895		上記以外の事業費合計							一般事務費、上記で書き表せないもの	
※ 執行額＋人件費		4,933	19,718	112,923		事業費の総計		3,530	18,786	111,976	2,000			

事業活動の実績【アウトプット】

	活動実績の達成度を測る指標		単位	目指す 方向性	R 4	目標 実績	R 5	目標 実績	R 6	目標 実績	達成度		令和 4 年度の振返り	令和 5 年度の振返り	令和 6 年度の振返り	
活動指標	指標①	廃棄物の処理回数	回								事業把握のための実数	活動成果や課題等	廃棄物処理法に基づき、廃棄物処理を2回実施し、適正処理を行うとともに、行政・漁協が一体となって関係漁業者に対し、啓発を行い漁村における環境の保全に努めた。	魚介類鮮度保持施設を整備するため、旧水産業振興施設を円滑に解体実施できる様に漁業協同組合が事業実施主体となり行う解体設計業務に要する経費について支援を行うことにより、水産振興の向上を図った。 水揚げポンプ等の老朽化が進み故障が続いた。	魚介類鮮度保持施設を整備するため、漁業協同組合が事業実施主体となり行う製氷貯氷施設の整備に要する経費について支援を行うことにより、水産振興の向上を図った。	
					2	2	2									
	指標②	漁港施設改修事業費補助金交付件数	件								事業把握のための実数	課題への改善提案	漁協利用施設の老朽化が進み故障が続いたため、今後の施設改修計画等の作成を促した。			
					1	4	3									
	指標③															
	指標④															

